

無理なく自然に ごみ減らし



© 鹿児島県ぐりぶー・さくら

ぼくは令和6年度ごみの減量化・資源化部門の4年生標語の部で特選をいただき、「ごみ分別 無理なく自然に リサイクル」という標語が令和7年度家庭ごみ出しカレンダー1月にけいさいされました。自分が考えた言葉が市のカレンダーにのるのはとてもうれしく、また、これをきっかけにごみのことをもっと真剣に考えるようになりました。

鹿児島市では「市民一人1日100g、ごみを減らしましょう」と呼びかけていて、もやせるごみの約40%は生ごみで、生ごみを減らすことがごみの減量につながります。そのために「食べきり」「水きり」「使いきり」の「3きり」を心がけることが大切です。ぼくの家では、食べる量を最初に決めて残さないようにしたり、生ごみの水分をしっかりと切ったり、調味料や歯みがき粉を最後まで使いきったりしています。

ごみ減量には「3R」も欠かせません。リデュース（ごみを減らす）、リユース（くり返し使う）、リサイクル（再び資源として使う）です。買い物ではマイバッグを使い、ペットボトルや缶はきちんと分別しています。小さな行動でも、みんなが続ければ大きな成果になります。そして、ごみを燃やすと二酸化炭素が出て、地球温暖化の原因になります。ごみを減らすことは、地球を守ることにもつながります。ぼくはこれからも、3きりと3Rを続け、

友達や家族と協力してごみを減らしていきたいです。そして、無理なく自然
にリサイクルすることが当たり前の鹿児島市になればうれしいです。

学校法人池田学園池田小学校 5年 元吉 海智

